

# 第1回 市民シンポジウムに参加してみませんか

人口減少時代を迎えた長野市の公共施設等について考える、初めての市民シンポジウムを開催します。このシンポジウムは、BaSSプロジェクトとの共同開催です。

篠ノ井地区で開催したワークショップの事例発表や、会場の皆さんにも参加いただくパネルディスカッションを企画しています。

あなたも「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」長野市の公共施設マネジメントについて、一緒に考えてみませんか。



- 日 時／平成30年1月20日(土) 14:00～16:00 (開場13:30)  
入場無料 事前申し込み不要
- 場 所／長野市芸術館 3階 アクトスペース
- テーマ／公共施設マネジメントのススメ方  
《公共資産整備の実現に向けた取り組み》  
◇事例報告「篠ノ井地区市民ワークショップ」について  
◇パネルディスカッション  
パネリスト 寺沢弘樹 日本PFI・PPP協会業務部長 (BaSSプロジェクト)  
平林和憲 篠ノ井地区住民自治協議会会長  
松岡保正 長野市公共施設適正化検討委員会委員長  
樋口 博 長野市副市長  
コーディネーター 堤洋樹 前橋工科大学准教授 (BaSSプロジェクト)  
◎会場入口ではパネル展示も行います ぜひご覧ください！

駐車場に限りがございますので、できるだけ公共交通機関または乗り合わせでご来場ください



公共施設マネジメント推進に対する皆さまの意見をお聞かせ下さい。  
ニュースレター・市民シンポジウム第6号の様子などをお知らせします。

◆公共施設マネジメントの情報は、長野市ホームページ>組織で探す>公共施設マネジメント推進課 をご覧ください。

長野市 総務部  
公共施設マネジメント推進課  
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地  
Tel: 026-224-7592 Fax: 026-224-7964  
E-mail: koukyou@city.nagano.lg.jp

◆ 挿入キャラクター等の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部の協力を得ています。



## 長野市公共施設マネジメント ニュース・レター Vol.5 平成30年1月 長野市

第5号

あなたのお住まいの地区は？  
～7地区で公共施設を考える市民ワークショップを開催しています～

人口減少、少子高齢化が進展する中、公共施設の「量」と「質」の見直しが求められています。そこで、地域の賑わいや、活力あるまちづくりにつながる施設の集約化、多世代交流の促進を生み出す複合化・多機能化など、公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民の皆さまと市と一緒に検討する市民ワークショップを各地区で開催しています。

ワークショップでは、年齢・肩書に関係なく、様々な意見を自由に出し合ってもらい、グループごとに提案をまとめています。

市では、いただいたアイデアやご意見を整理し、地域の公共施設再配置検討のたたき台にしたいと考えています。来年度も他の地区で開催しますので、皆さま(特に若い方)のご参加をお待ちしています。

今回のニュースレターは、ワークショップの様子といただいたご意見の一部をお伝えします。

～ワークショップとは「創造的な協働作業」を意味する言葉です～

- ◇参加者が全員で一緒に考えながら、協働作業で提案やプランを作り上げていきます
- ◇リラックスした雰囲気、自由に、気軽に意見を出し合い、それらに触発されて新しいアイデアが次々に生まれていくプロセスに特長があると言われています
- ◇参加者のさまざまな思いやニーズ、ノウハウ等を引き出して、提案に生かしていく作業です

### 平成29年度開催日程

※平成29年12月25日時点

篠ノ井地区 (終了)	8月6日(日)、27日(日) 9月10日(日)、23日(土)	信州新町地区	11月12日(日)、25日(土) 12月16日(土) 1月13日(土)
朝陽地区 (終了)	9月17日(日) 10月21日(土) 11月18日(土)	松代地区	11月26日(日) 12月10日(日)、24日(日) 1月21日(日)
七二会地区 (終了)	10月16日(月) 11月14日(火) 12月4日(月)	大岡地区	12月9日(土)、23日(土) 1月14日(日)、28日(日) 2月11日(日)
浅川地区	11月11日(土) 2月24日(土)		

時間・会場は、公共施設マネジメント推進課ホームページでご確認ください



# 篠ノ井地区からはこんなご意見をいただいています

篠ノ井地区では、応募いただいた中学生から80歳代の人生の大ベテランの方まで約40名に参加いただきました。全4回のワークショップをBaSSプロジェクト\*と共同で開催しました。

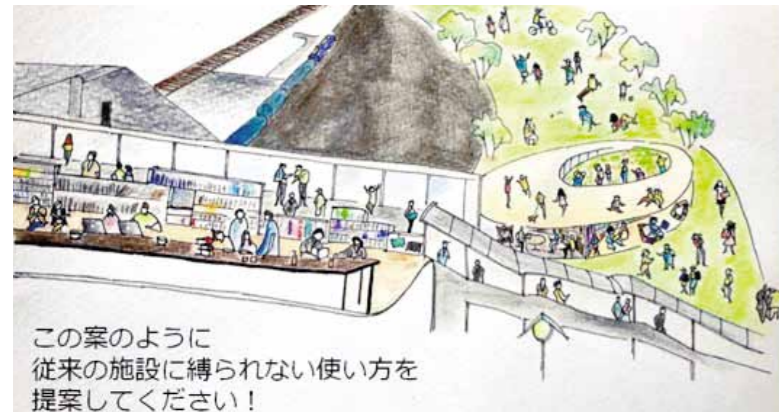
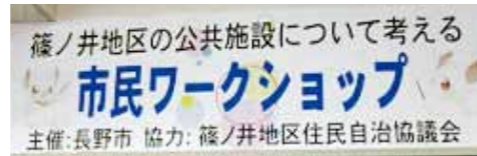
篠ノ井駅周辺の公共施設の再配置案を中心に検討いただきましたが、話題の中心は、南部図書館に集まりました。

BaSSプロジェクト代表の堤前橋工科大学准教授チームのたたき台とグループ発表の一部をご覧ください。



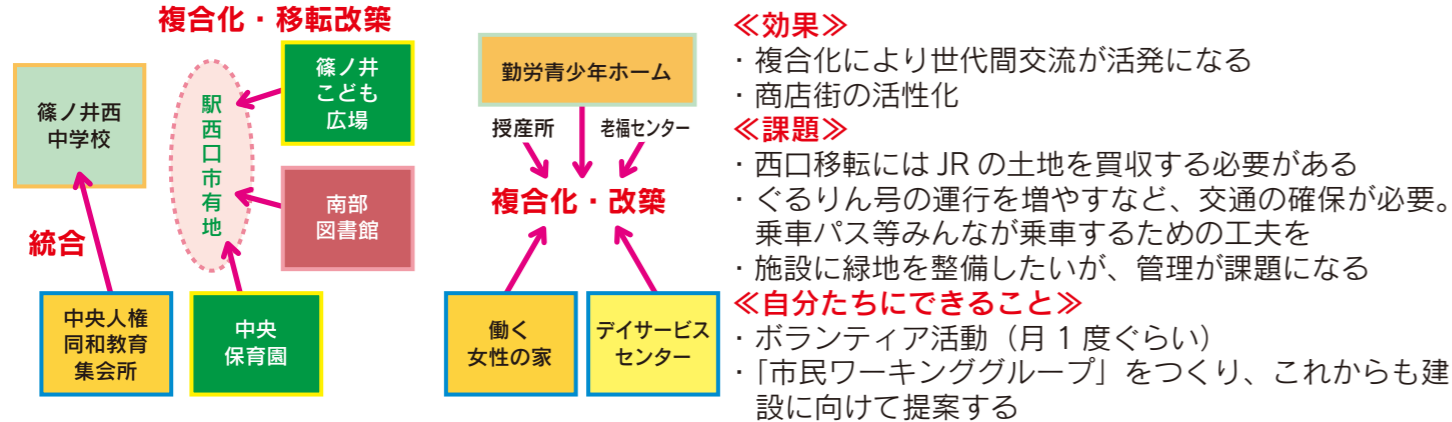
↑堤前教授から提案された「朝を楽しむ図書館」のイメージイラストです

\*BaSSプロジェクトとは・・・  
R I S T E X (社会科学技術連携センター) 研究開発プロジェクト「地域を持続可能にする公共資産経営の支援体制の構築」の研究のため、産学官の人材が集まったプロジェクト

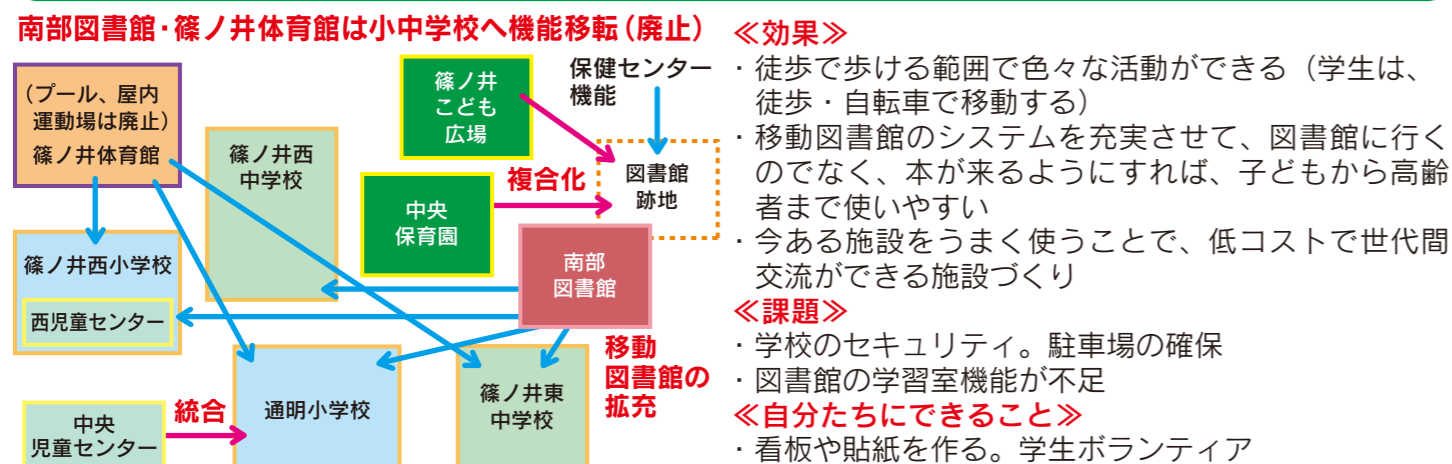


この案のように従来の施設に縛られない使い方を提案してください!

## コンセプト【50年100年後も生き生き活用できる施設】



## コンセプト【低コストで世代間交流ができる】



※建物に移す案を→で、機能を移す案を→で、表しています

# 朝陽地区ではこんなご意見がありました



「移転場所」については、土地所有者や関係の皆さまの御了承なく出された意見を掲載しています。関係の皆さまには、御容赦いただきますようお願いいたします。

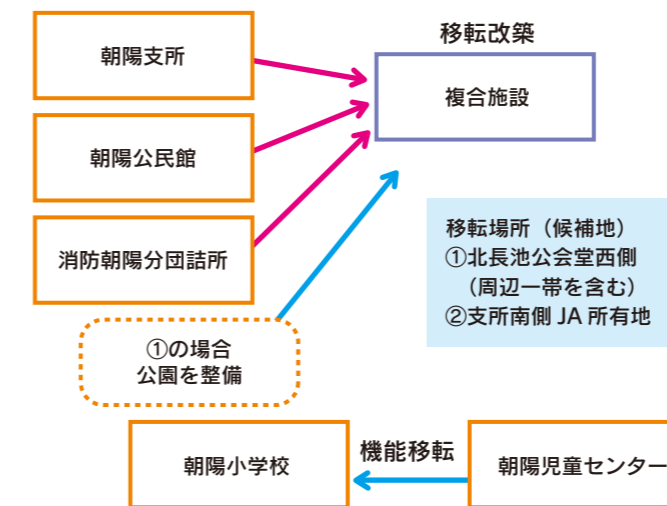
朝陽地区では、公募参加者のほか、お母さんと一緒に来た小学生の飛び込み参加まで、約30名の方に参加いただきました。

3回のワークショップでは、朝陽支所を中心に検討が進みました。支所と公民館の複合施設を移転改築する案が大勢を占めましたが、一部では現地改築の案もありました。

また、「自分たちができること」の意見の中には、「施設建設のための募金」という声もあがっていました。

グループ発表の一部を紹介します。

## コンセプト【不便から便利に向けての朝陽～施設の複合化と再配置～】



**効果**

- ①の場合：一か所で施設サービスが受けられる、公園整備により防災機能を確保する
- ②の場合：小学校に近く朝陽地区の中心地、JAと協力できる、公民連携手法も活用できるのでは

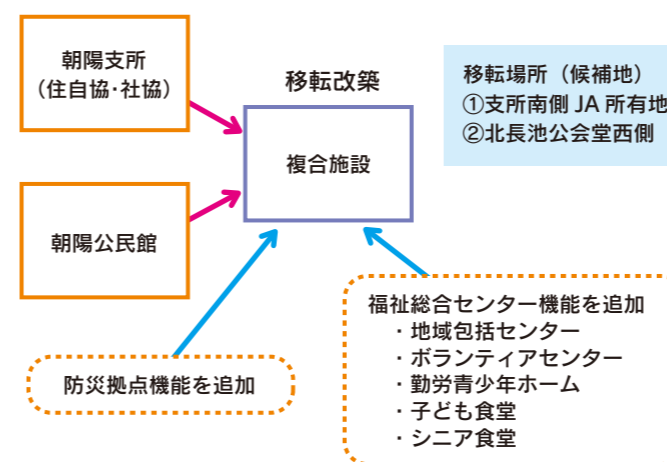
**課題**

- ①の場合：調整区域の用地取得
- ②の場合：民間所有地のため協力が得られるか
- 共通：避難場所としての機能を持たせたい

**自分たちにできること**

- 施設建設のための募金
- 説明会の開催、署名活動、市への要望
- 公園が整備されれば愛護会等のボランティア

## コンセプト【世代間交流による“にぎわい”+福祉・防災センター】



**効果**

- 複合化によるワンストップサービス
- 高い費用対効果を生み出す
- にぎわいづくり、安心・安全な公共施設

**課題**

- 用地取得
- PPP/PFIなどの公民連携手法の導入
- 公民館を多目的ホールにすることで講演会、スポーツ大会、飲食もできるようにしたい

**自分たちにできること**

- 施設の運営に参画する
- 地域が団結していく

## ●ご意見・ご提案を受けて・・・

今後の具体的な再配置及び施設整備に向けた検討については、今回のワークショップでいただいたご意見等を参考に、住民自治協議会をはじめとする地域の皆さまだけでなく、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えております。ご理解、ご協力をお願いいたします。